

計画の名称	藤枝市中心市街地における快適な居住環境整備計画												
計画の期間	令和06年度 ~ 令和07年度 (2年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	藤枝市												
計画の目標	<p>藤枝駅周辺においては、平成20年度からの中心市街地活性化基本計画に基づき、駅南地区を中心に民間企業による開発や大規模マンションの建設が進められたほか、道路などの公共空間を活用した賑わい創出イベントを開催することで、居住人口や歩行者通行量の増加、不動産価値の向上など一定の効果が発現された。</p> <p>一方で駅前地区を含む駅北地区においては、市街地再開発事業の遅れや核となる施設の不足、低未利用地の存在などから魅力が低下し、歩行者通行量の減少（特に昼間が減少）や空き店舗の増加など、駅の南北で格差が顕著に現れている。</p> <p>そのため、市街地再開発事業等の実施により、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新や良質な都市型住宅の供給を図り、「快適な街なか居住環境の整備」による中心市街地全体への波及効果を目指す。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,004	A	3,004	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	住環境整備等による暮らしやすさの向上の指標として、中心市街地区域内の居住人口を11,246人（R4）から11,026人（R7）に維持する。	R4		R7
	中心市街地区域内の居住者数	11246人	人	11026人
2	住環境整備等による活動・交流創出の指標として、中心市街地区域内の昼間の歩行者通行量を6,230人／日（R4）から7,832人／日（R7）に増加させる。			
	中心市街地区域内8地点における昼間の歩行者通行量	6230人／日	人／日	7832人／日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
市街地総合再生計画：藤枝駅前地区												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R06	R07	R08	R09	R10				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	藤枝市	間接	藤枝駅前一丁目9街区市街地再開発組合	-	-	藤枝駅前一丁目9街区市街地再開発事業	敷地の共同化 0.3ha	藤枝市						2,833	1.18	-	
	A16-002	住宅	一般	藤枝市	間接	藤枝駅前一丁目6街区市街地再開発組合	-	-	藤枝駅前一丁目6街区市街地再開発事業	敷地の共同化 0.3ha	藤枝市						171	1.32	-	
											小計						3,004			
											合計						3,004			

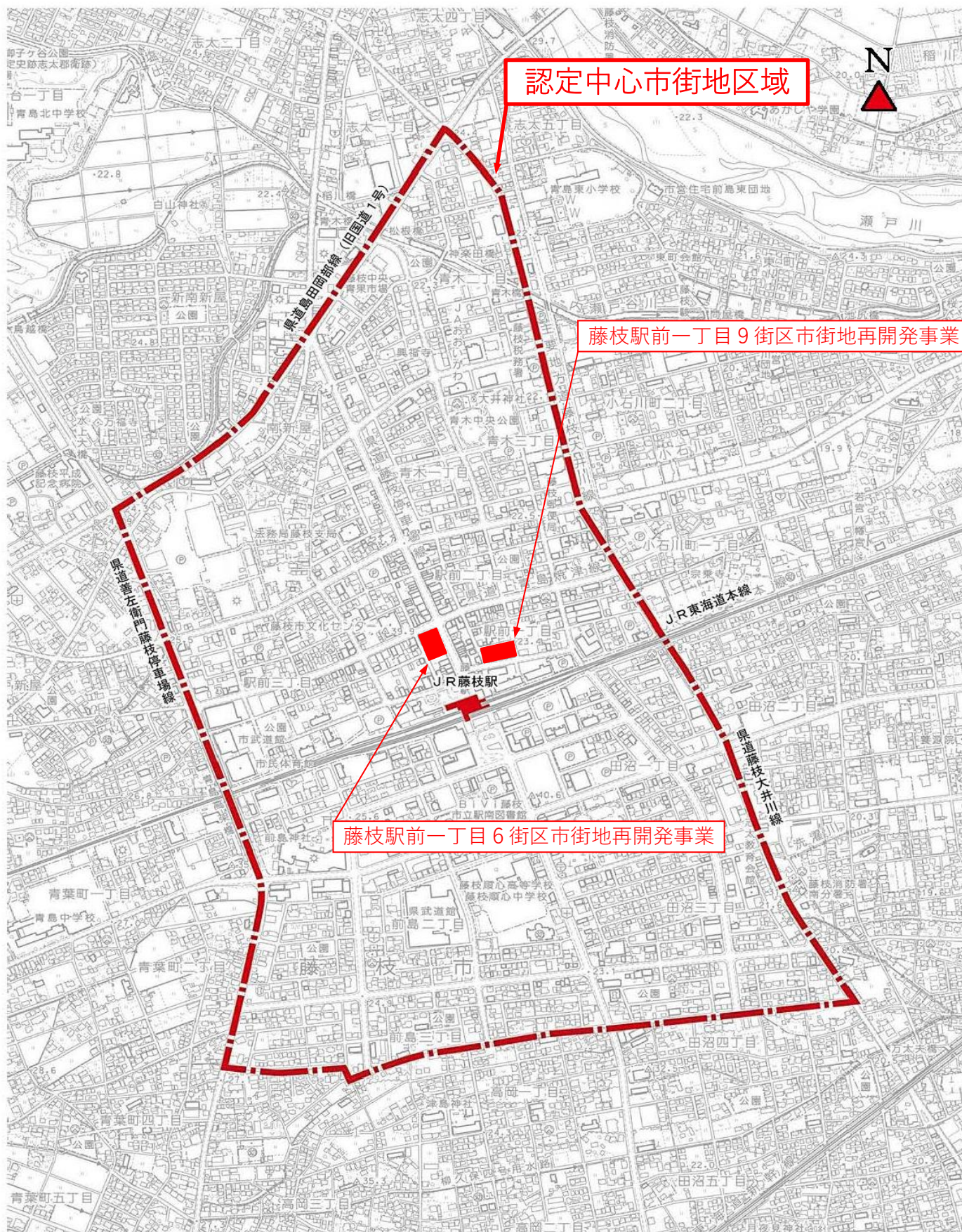
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	412				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	412				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	412				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式)参考図面(社会資本整備総合交付金)

計画の名称	藤枝市中心市街地における快適な居住環境整備計画		
計画の期間	令和6年度 ~ 令和7年度 (2年間)	交付対象	藤枝市



事前評価チェックシート

計画の名称： 藤枝市中心市街地における快適な居住環境整備計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○